

市民ネット ひし沼みえこ さんの勝利を願って

ひし沼さんとさわやかネットに結集された皆様に、心からのメッセージを送ります。

私が札幌市長であった12年の間、市民ネットに結集される皆様方とはほぼ定期的に市政課題についての勉強会を開催し議論をさせて頂きました。

その際必ず参加されていた菱沼さんが、市議会議員選挙に立起される決意をされたことに、まずもって心からの敬意を表しますとともに、ひし沼さんが勝利し心ある多くの市民の皆様方の意思を、市議会の場で全面展開され大活躍されることをご期待申し上げます。

「地方自治は民主主義の学校である」と英国のジェイムズ・ブライスは述べました。市議会は札幌市民にとって民主主義の実践場でなければなりません。市民が生活の場で気付いた不都合、疑問に思っていること、必要と思うことを市民が公の場で語り合い発信する、そして未だ課題に気付いていない市民に共感が生まれ、あるいは異論が生まれ、いかにすべきか共に考え悩む場所だと思えます。

だから、そこでの議論は市民の生活から生まれ出る課題意識が基本になればなりません。生活クラブの活動を通じて、日々必要とされる消費生活を共同し、生まれ出る問題意識を常に涵養し、醸成し、発信する皆さん方の活動が市民ネットの力強い運動となり、民主主義が実現されるものと私は考えております。

平和や人権という抽象的課題についても、単に憲法に書いてあるからではなく、市民にとって必要不可欠なものであるに拘わらず権力によってしばしばないがしろにされるものであるからこそ憲法に書かれていることを認識し、憲法が理想としてかかげる国際平和を実現するために私たちはそして日本は何をなすべきなのかを、私たちの具体的生活の中から課題を見出すことによって考え行動をとることが、平和を人権を実現する強い力になって行くものと私は思います。市民ネットに参加されている方々の発想は、自分の生活基盤をしっかり見つめ、そこから他者の生活を、社会の課題を語り共感を広げる=ネットワークを広げ立ち上がる場所に強さがあり、繰り返しになりますが、それが民主主義の基本をなすものだと私は思っております。

自治基本条例の実践(情報提供・情報共有・市民参加)を最も熱心に追求し、あらゆる市政課題を議論する場でその理念の実践を繰り返して求めてきたのが、これまで市民ネットの議員でした。その姿勢に私は心からの敬意を表し、北区の石川さんと共に議席を獲得し、皆様方の活動が実を結ぶことをご祈念致します。

また市議会議員選挙への思いが、北海道知事選挙における石川知裕さんの闘いと同期(シンクロ)することを期待したいと、思っております。

2019/3/2 (弁護士) 上田文雄